



蔵本通支坊出勤の法中に出される精進ケーキ。小田原倅江さん苦心の作。とてもお精進とは思えない美味しさ。

持ち。私たちは「障害者」ではなく「仲間」と呼んでいる。
最後に、今思うことは、父から受けたものを娘に、若い世代に伝えたかどうか、考えている。豊かになることばかりにとらわれていた。挨拶ができない若い職員。掃除も雑巾を使わない時代。結果だけを大事にして、何事もプロセス(過程)を教えてこなかった。苦勞(プロセス)を教えなかったら、どうやってこれからの人生を乗りこえて行くのか。私たちは、これを次の世代に伝える役割を担っていると思いつている。親鸞さまをはじめ教え切れない方々のおかげで「手をつなぐ」ことを教えていただき「おかげさま」を伝えていきたい、とお話くださいました。



蔵本通支坊でお齋のご報告。



蔵本通支坊炊事場でのご報告の皆さん

な



長ノ木本坊ご満座の様子。修復をおつとめ信鳩(念正信鳩)をとつとめ信鳩(念正信鳩)



蔵本通支坊売店の皆さん。

長ノ木本坊お齋をお世話してくださった皆さん。赤いタオルがトレードマーク。(写真右→)



徐々に復活した長ノ木本坊のお齋。大根、にんじん、1つ1つが大きいのが特徴。

